

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月13日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6358 URL <http://www.sakainet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,666	9.6	455	33.9	405	44.8	282	54.2
24年3月期第2四半期	8,823	10.4	340	246.1	279	—	183	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 67百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.66	—
24年3月期第2四半期	4.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,634	13,155	49.3
24年3月期	26,052	13,173	50.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 13,139百万円 24年3月期 13,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
25年3月期	—	2.00			
25年3月期（予想）			—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	6.0	900	37.0	700	39.4	500	50.0	11.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	42,620,172株	24年3月期	42,620,172株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	200,924株	24年3月期	197,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	42,420,961株	24年3月期2Q	42,427,472株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結地域区分別売上高表

区 分	当第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		前第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	4,922	50.9	3,844	43.6	1,077	28.0
海 外	4,743	49.1	4,978	56.4	△234	△4.7
北 米	815	8.4	971	11.0	△155	△16.0
アジア	2,827	29.3	3,165	35.9	△337	△10.7
中近東・ロシアCIS	552	5.7	288	3.2	263	91.5
その他	548	5.7	553	6.3	△4	△0.9
合 計	9,666	100.0	8,823	100.0	843	9.6

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、欧州債務危機と中国経済の成長鈍化を震源とした世界経済の減速を受け、これまで拡大を続けてきた海外の建設機械需要が調整局面に入る一方、東日本大震災の復興工事本格化に伴い、国内の建設機械需要は拡大基調に推移致しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、震災復興工事への対応強化と海外の新市場開拓を進めるとともに、国内外の需要激動を受けた変化への対応を進めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外販売の減少を国内販売の増加が補い、前年同期比9.6%増の96億6千万円とすることが出来ました。利益面につきましても、営業利益を前年同期比33.9%増の4億5千万円、経常利益を同44.8%増の4億円、四半期純利益を54.2%増の2億8千万円とし、増収増益を達成致しました。

連結地域区分別売上高状況につきましては次のとおりであります。

国内向け売上高は、震災復興需要に下支えされた建設機械需要が全国的に増加基調に推移し、前年同期比28.0%増の49億2千万円とすることが出来ました。

海外向け売上高は、世界経済減速の影響を受けて建設機械需要が調整局面に入り、前年同期比4.7%減の47億4千万円に減少致しました。この結果、海外向け売上高の構成比率は、前年同期の56.4%から7.3ポイント減の49.1%となりました。

北米向け売上高は、エネルギー・住宅向け需要が堅調に推移する一方、舗装業界向け販売が振るわず、前年同期比16.0%減の8億1千万円に留まりました。

アジア向け売上高は、建設機械需要が国別に斑模様な足踏み状態に入りましたものの、タイやマレーシアが拡大基調に推移し、中国では弱含みながらも前年同期水準を維持、インドネシアでも鉱山向けを除く販売が堅調に推移致しました結果、前年同期比10.7%減の28億2千万円に留めることが出来ました。

中近東・ロシアCIS向け売上高は、サウジアラビアを中心とした新規市場開拓とロシア向け販売の増加により、前年同期比91.5%増の5億5千万円と致しました。

その他市場向け売上高は、アフリカにおける新規市場開拓と大洋州市場の需要回復が進みましたが、中南米向け売上高が減少致しました結果、前年同期比0.9%減の5億4千万円に留まりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 7,609	百万円 6,772	百万円 836	% 12.4
	営業利益	217	64	153	237.6
米 国	総売上高	854	1,018	△163	△16.1
	営業利益	△40	7	△47	—
インドネシア	総売上高	2,642	2,845	△203	△7.1
	営業利益	313	326	△13	△4.0
中 国	総売上高	785	625	160	25.6
	営業利益	△2	30	△33	—
調 整 額	総売上高	△2,224	△2,437	213	—
	営業利益	△32	△89	56	—
連 結	総売上高	9,666	8,823	843	9.6
	営業利益	455	340	115	33.9

日本

超円高基調の中で海外輸出が減少致しましたものの、国内向け販売の増加でこれを補い、総売上高を前年同期比12.4%増の76億円まで増加させました結果、営業利益は同237.6%増の2億1千万円となり、増収増益を達成致しました。

海外

米国では、営業体制再強化を進めておりますが、舗装業界向け販売が振るわず、総売上高は前年同期比16.1%減の8億5千万円に減少し、4千万円の営業損失となりました。インドネシアでは、鉱山を除く国内販売が底堅く推移致しましたものの、第三国向け輸出が減少致しました結果、総売上高は前年同期比7.1%減の26億4千万円、営業利益は同4.0%減の3億1千万円となりました。中国では、国内需要の縮小傾向に対して、第三国向け輸出を中心に総売上高を前年同期比25.6%増の7億8千万円に増加させましたものの、輸出採算が厳しく2百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ5億8千万円増加し、266億3千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が16億8千万円増加、たな卸資産が1億2千万円増加し、受取手形及び売掛金が6億3千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億2千万円増加し、200億2千万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が評価差額金等により6億3千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億3千万円減少し、66億1千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が3千万円増加し、短期借入金金が7億5千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億6千万円減少し、110億5千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金金が15億8千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ14億6千万円増加し、24億2千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が1億9千万円増加し、その他有価証券評価差額金が2億3千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1千万円減少し、131億5千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント減少し、49.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、国内では当面底堅い震災復興需要が続くものと期待されますが、海外については、欧州及び中国を震源とした世界経済の減速、日中摩擦による中国ビジネス環境の激変、歴史的超円高基調の長期化と資源エネルギー価格の乱高下など、当面は変化が常態化した経済情勢が続くものと予想されます。

当企業グループでは、経済情勢に対する変化対応力の強化と迅速化を図るとともに、引続き国内の震災復興工事対応、海外市場開拓、グローバルな組織運営体制強化を進め、安定的な業績向上を目指して参ります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,248,051	4,932,721
受取手形及び売掛金	6,683,160	6,051,271
商品及び製品	4,003,460	4,577,092
仕掛品	1,942,493	1,602,216
原材料及び貯蔵品	2,696,514	2,590,479
その他	333,601	273,674
貸倒引当金	△6,391	△5,511
流動資産合計	18,900,889	20,021,943
固定資産		
有形固定資産	3,715,314	3,796,440
無形固定資産	125,870	109,125
投資その他の資産		
投資有価証券	2,281,809	1,647,679
長期貸付金	892	930
その他	1,050,691	1,081,450
貸倒引当金	△22,968	△22,957
投資その他の資産合計	3,310,425	2,707,103
固定資産合計	7,151,610	6,612,669
資産合計	26,052,499	26,634,613
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,977,557	5,008,791
短期借入金	5,756,522	4,997,970
未払法人税等	76,809	134,557
引当金	57,902	59,201
その他	1,054,467	856,507
流動負債合計	11,923,259	11,057,027
固定負債		
長期借入金	31,316	1,613,274
引当金	52,830	58,145
その他	871,942	750,962
固定負債合計	956,088	2,422,382
負債合計	12,879,348	13,479,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,115,199	3,115,199
資本剰余金	6,361,142	6,361,142
利益剰余金	3,811,205	4,008,801
自己株式	△44,743	△45,705
株主資本合計	13,242,802	13,439,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462,483	225,958
繰延ヘッジ損益	—	3,421
為替換算調整勘定	△544,470	△528,990
その他の包括利益累計額合計	△81,986	△299,610
少数株主持分	12,335	15,376
純資産合計	13,173,151	13,155,203
負債純資産合計	26,052,499	26,634,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,823,179	9,666,414
売上原価	6,673,096	7,298,531
売上総利益	2,150,083	2,367,883
販売費及び一般管理費		
運搬費	143,732	164,293
給料及び賞与	750,794	773,921
技術研究費	334,444	348,286
その他	581,019	625,963
販売費及び一般管理費合計	1,809,989	1,912,464
営業利益	340,093	455,418
営業外収益		
受取利息	4,462	1,998
受取配当金	25,704	28,675
その他	10,892	17,357
営業外収益合計	41,059	48,030
営業外費用		
支払利息	66,222	67,254
その他	35,020	30,894
営業外費用合計	101,242	98,149
経常利益	279,909	405,300
特別利益		
固定資産売却益	—	277
投資有価証券売却益	0	—
保険解約返戻金	3,475	—
特別利益合計	3,476	277
特別損失		
固定資産処分損	472	528
投資有価証券評価損	765	—
保険解約損	—	7,931
ゴルフ会員権評価損	300	—
特別損失合計	1,538	8,460
税金等調整前四半期純利益	281,848	397,117
法人税等	96,281	112,141
少数株主損益調整前四半期純利益	185,566	284,975
少数株主利益	2,458	2,532
四半期純利益	183,108	282,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	185,566	284,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163,892	△236,525
繰延ヘッジ損益	—	3,421
為替換算調整勘定	△62,691	15,987
その他の包括利益合計	△226,584	△217,116
四半期包括利益	△41,017	67,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,084	64,818
少数株主に係る四半期包括利益	2,067	3,040

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	281,848	397,117
減価償却費	155,770	175,707
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△626	△888
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,714	1,299
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,793	5,199
受取利息及び受取配当金	△30,166	△30,673
支払利息	66,222	67,254
固定資産処分損益 (△は益)	472	528
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	765	—
ゴルフ会員権評価損	300	—
売上債権の増減額 (△は増加)	865,934	571,704
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△648,266	△290,619
仕入債務の増減額 (△は減少)	326,312	△61,915
未払費用の増減額 (△は減少)	54,517	△8,833
その他	133,241	△83,206
小計	1,209,834	742,675
利息及び配当金の受取額	27,533	33,719
利息の支払額	△64,227	△64,304
法人税等の支払額	△58,837	△55,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114,302	656,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△20,000
定期預金の払戻による収入	30,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△131,933	△102,399
有形固定資産の売却による収入	—	52,841
無形固定資産の取得による支出	△1,361	△21,883
投資有価証券の売却による収入	1	300,426
貸付けによる支出	△1,500	△800
貸付金の回収による収入	1,761	2,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,031	251,115
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△12,564	381,745
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△276,042	△1,120,867
自己株式の取得による支出	△320	△961
配当金の支払額	△63,642	△84,845
少数株主への配当金の支払額	△2,044	—
その他	△5,058	△52,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,672	822,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,923	△24,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	616,675	1,704,670
現金及び現金同等物の期首残高	4,077,342	3,148,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,694,017	4,852,719

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。